

施策マネジメントシート

施策名	行政評価	スポーツ・レクリエーションの推進	施策統括課	生涯学習課	氏名	津田 智宏
政策名	施策体系	ひとが生きる・暮らす	施策関係課	予防・健康担当、環境政策課		

1 施策の目的と指標

<p>対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等</p> <p>・市民</p>	<p>対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> <tr><td>エ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 人口	人	イ		ウ		エ			
名称	単位												
ア 人口	人												
イ													
ウ													
エ													
<p>意図(対象をどう変えるのか)</p> <p>・スポーツ・レクリエーションを楽しみ健康増進に結びつける</p>	<p>成果指標 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 日常スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> <tr><td>エ</td><td></td></tr> <tr><td>オ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 日常スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合	%	イ		ウ		エ		オ	
名称	単位												
ア 日常スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合	%												
イ													
ウ													
エ													
オ													

2 第2次基本計画期間(平成23～27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
機会や場の提供	市内の高校・大学等の体育施設との連携を継続します。多種多様な事業を展開するため、くにたち文化・スポーツ振興財団や国立市体育協会等との連携を図ります。年齢・体力等に応じたスポーツのPRや事業の実施により、誰もがスポーツに親しめるよう努めます。
指導者の発掘・活用	地域の学生やスポーツ経験者等を指導者として活用し、交流を通じて地域コミュニティにおけるスポーツ・レクリエーション振興に努めます。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

		単位	数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
対象指標	ア	人	見込み値									76,000		
			実績値	73,563	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265	74,381	74,303	74,546		
		イ	見込み値											
			実績値											
成果指標	ア	%	成り行き値				50.4	50.4	50.4	50.4	50.4	50.4		
			目標値				51.4	52.4	53.4	54.4	55.4	56.0		
			実績値	48.0	50.4	49.0	46.7	49.2	52.6	53.8	53.7			
			基本計画における 施策の目標設定の根拠		第2回国立市市民意識調査において、地域別で最も高い水準であった泉地域の55.8%を超える数値を全体として目指すことを目標としました。									
イ	ウ	エ	成り行き値											
			目標値											
			実績値											
			基本計画における 施策の目標設定の根拠											
ウ	エ	オ	成り行き値											
			目標値											
			実績値											
			基本計画における 施策の目標設定の根拠											
オ	エ	オ	成り行き値											
			目標値											
			実績値											
			基本計画における 施策の目標設定の根拠											
施策コスト	事務事業数		本数	13	13	13	12	12	13	6	5	5		
	財源内訳	国庫支出金	千円										0	
		都道府県支出金	千円		7,183			20,905	20,557	29,921			0	
		地方債	千円									330,700	55,000	
		その他	千円					21,696	5,000			1,832		
		事業費計(A)	千円	170,504	158,077	162,041	159,972	161,131	200,509	204,194	379,410	186,001	186,001	
	人件費	延べ業務時間	時間	3,191	2,943	3,350	3,170	3,020	14,110	15,250	6,970	3,960		
		人件費計(B)	千円	10,810	9,450	11,455	10,540	9,895	42,150	47,290	20,380	14,550		
		トータルコスト(A)+(B)		千円	181,314	174,710	173,496	170,512	213,627	268,216	281,405	732,322	255,551	

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

・スポーツ・レクリエーションは、生きがいづくりや健康づくりに大切であるばかりでなく、地域間交流や世代間交流の推進、地域コミュニティの活性化、地域イメージの向上などの面からも大きな役割が期待されている。
 ・市では、子どもの体力の向上、成人・高齢者の健康の保持及び精神的ストレスの解消のため社会体育事業として、くにたち文化・スポーツ振興財団と連携しながらスポーツ・レクリエーションの振興に努めている。しかしながら、利用可能施設に比して、利用者が飽和状態であるのが現状である。
 ・平成32(2020)年のオリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが決定したことにより、スポーツの注目度が高まっている。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・スポーツ施設を利用したいが埋まっているため利用できないとの苦情がある。
 ・スポーツ施設の予約をインターネット上で行いたいとの要望がある。
 ・公園への健康遊具の設置など、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを推進してほしいとの要望がある。

5 27年度の評価結果

(1) 施策の取組状況

27年度行政経営方針	取組状況
	・利用者の利便性向上のため、総合体育館、テニスコート・野球場等の公園施設を対象にした施設予約システムを導入した。 ・第三中学校校庭に夜間照明施設を設置し、施設開放するためのルールづくり等事前準備を行った。 ・市民総合体育館の利用人数は、前年度比48.4%増の185,249名となった。これは、昨年、4か月半の施設休館をしたためである。 ・保健センターでは、オリジナル体操の普及・拡大及び普及事業を行っている。また、健康ウォーキングマップの改訂を行った。 ・26年度に引き続き、地域保健師活動の一環として、GO！5大作(削)戦を実施し、市民の健康改善に努めた。 ・体育協会の協力を得て、大会派遣や連盟加盟の補助金助成を行う等のスポーツ団体育成を実施している。

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標達成度(目標値と実績値との比較)

成果指標ア 【 日常スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合 】
 27年度目標値を達成 未達成 → 26年度実績値と比較し成果向上・維持 26年度実績値と比較し成果低下

成果指標イ 【 】
 27年度目標値を達成 未達成 → (26年度実績値と比較し成果向上・維持 26年度実績値と比較し成果低下)

成果指標ウ 【 】
 27年度目標値を達成 未達成 → (26年度実績値と比較し成果向上・維持 26年度実績値と比較し成果低下)

成果指標エ 【 】
 27年度目標値を達成 未達成 (26年度実績値と比較し成果向上・維持 26年度実績値と比較し成果低下)

成果指標オ 【 】
 27年度目標値を達成 未達成 (26年度実績値と比較し成果向上・維持 26年度実績値と比較し成果低下)

成果指標カ 【 】
 27年度目標値を達成 未達成 (26年度実績値と比較し成果向上・維持 26年度実績値と比較し成果低下)

時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)～E(かなり低下)
 C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)

他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)～E(かなり低い)
 C:他自治体と比べてほぼ同水準である

背景として考えられること
 及び については、スポーツ施設予約システムや夜間照明の設置などを行ったが、予約システムは稼働が平成28年1月から、夜間照明の一般開放は平成28年度からであり、利便性は向上したものの成果につながるまでは至らず、若干ではあるが成果が低下した。今後は周知徹底などにより向上が見込まれる。
 他自治体と比較し、実施事業数が多い半面、施設の充実度は同程度かやや低い水準である。

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

・利用者の利便性向上のための施設予約システムを導入した。
 ・市民や地域のスポーツ振興の更なる場として、第三中学校校庭に夜間照明施設を設置し、施設開放に向けた取り組みを行った。
 ・GO！5大作(削)戦については、昨年度に比して若干増員となった。
 ・各スポーツのリーダーの資質向上を図るための、指導者講習会が不足していた。

6 施策の課題・今後の方向性

・施設予約システムの導入直後のため、引き続き、利用者意見や課題への対応を行う必要がある。
 ・地域におけるスポーツ・レクリエーション活動を振興させるため、市内の指導者等を増やすことが課題である。
 ・条例改正等条件整備を整え、平成28年度より第三中学校校庭の夜間施設開放を行う。
 ・施設の老朽化が進むなか公園施設・スポーツ施設の長寿命化(更新)計画を検討し、安全な使用環境を確保していく必要がある。
 ・高齢者の健康寿命延伸につながるよう、公園への健康遊具の設置等、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを検討する必要がある。
 ・地域保健師の活動として、健康づくり・維持を目的として、引き続きウォーキングを推進していく。
 ・スポーツは健康づくり、レクリエーション、市民交流など様々な観点を持つため、関係各課や各種団体等といった連携を図ったうえで事業を展開していく必要がある。